

大学部開設から125年（後編） （経済部・商学部歴史を知る）

今回は、前回に続いて経済学部と商学部の変遷をたどる。

経済学部は、1890（明治23）年の大学部開設時に「理財科」としてスタート。

「三田の理財」の伝統を受け継ぎ、日本経済を先導する人材を数多く輩出してきた。

商学部は義塾6番目の学部として、1957（昭和32）年に経済学部から分離独立した。

経済学部

名声を得た「三田の理財」 経済会のリーダーを育て続ける

福澤諭吉は早くから経済学を重視しており、1868（慶応4）年にJ・H・バートンの政治経済学書などを翻訳し『西洋事情 外編』として刊行している。また同年、上野で彰義隊と官軍が戦闘中も、ウエーランド『経済書』の講義をやめなかったというエピソードも語り継がれている。

そして1890（明治23）年の大学部創設時に「理財科」が設けられ、以後、「三田の理財」として、また経済学部となつてからも、日本経済を先導する卒業生を社会に送り出し、義塾を代表する存在として揺るぎな

い地位を築いている。

理財科創設時の主任教師は、ハーバード大学から招聘されたドロップパス。後任のヴィッカーズとともに重要な科目をほとんど担い、学風の基礎を作った。その教育を受け、経済学部の基礎を固めたのが堀江帰一である。1896年に理財科を卒業した堀江は、時事新報社編集局での自由主義的な論説が福澤に注目され、気賀勘重らとともに第1回義塾派遣留学生に選ばれた。ハーバード大学に留学し、ロンドン、ベルリンを経て帰国後、大学部で銀行論、貨幣論などを講じ、大学令後の1920（大正9）年、理財科より改称した経済学部の初代学部長を務めた。経済学者としてのみならず、教課内容の拡充や組織づくり面の功績も大き



1896年の理財科卒業生。写真中央がドロップパスと福澤諭吉

く、高橋誠一郎、小泉信三、野村兼太郎らを教員に採用し、留学させ、研究・教育体制を整えた。経済学部は、その後の歴史においても経済学の発展に果たした役割は大きく、経済地理や環境経済学といった分野に



堀江帰一
（1876～1927年）



金原賢之助
(1897～1959年)

においてもかなり早い時期から知られている。

現在の経済学部は、国際的に活躍できる人材養成にも力を入れている。すべて英語による実践的な経済学教育を行うPCP（プロフェッショナル・キャリア・プログラム）を2005年度に開始。また2009年度から大学院でパリ政治学院とのダブルディグリー・プログラムを開始し、2012年度からは義塾初となる学士課程での同プログラムを開始した。2016年9月からは、4年間一貫して英語で経済学を学ぶプログラムPEARLがスタート。国内外から幅広く学生を受け入れる。

商学部

諭吉の「実学」の精神を継承する商学部

福澤諭吉が1873（明治6）年に『帳合之法 初編』を刊行してわが国における会計学研究の先駆をなしたことはよく知られており、前述の「理財科」でも、学習内容には簿記などの商学関係科目を多く含んで



『三田商学研究』創刊号（1958年刊行）に掲載されていた、創設当時の商学部教員集合写真



1982年5月12日に東京銀行協会銀行倶楽部で行われた、商学部設立25周年記念祝賀会。司会は常任理事も務めた藤沢益夫教授

いた。また経済学部への改編時には、選択科目に甲（経済学系）、乙（商学系）が設定されていた。1935（昭和10）年頃から商学部の分離が経済学部教授会の議題にのぼるが否決され、1938年度、経済学科と商業学科の2学科に改称。戦後、2学科制は一時廃止されたが、1949年に経済科・産業科として復活。高度成長期の時代背景のもと、有能な産業人育成への要請の高まりから再び商学部分離独立を求める声が再燃し、1957年によりやく義塾6番目の学部として開設された。翌年の創立100年記念事業の一環でもあった。

初代学部長は金原賢之助。経済学部長、常任理事を歴任し、商学部分離に尽力した人物。開設時に経済学

年も数々の新たな取組が生まれている。1964年に発足した企業実習制度は、1999年度に開講した短期インターシップ科目「社会との対話」のベースになった。また1980年には、公認会計士、税理士資格を目指す学生をサポートする会計研究室が開設されている。

1989年には、佐野陽子が義塾初の女性学部長に就任。また1996年には、義塾初のすべて英語で学位が取れる世界銀行国際租税留学制度を、大学院修士課程に開設した。2014年度からは英語で行う選拔型プログラムGPP（グローバル・パスポート・プログラム）もスタートし、グローバルに活躍する人材の育成に、ますます力を入れている。

部他の教員とともに商学部に移った。商学部は、その独特、かつ新しい挑戦にも寛容な風通しのよい雰囲気から、近